【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | 南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成15年度（2003年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ②高齢化の進展、障害者の利用が多いと考えられ、その移動ニーズヘの対応が急務である地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成15年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○第1次抽出地区で基本構想未策定の地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  南海高野線中百舌鳥駅（平成10年度）16,310人⇒（平成30年度）20,562人  泉北高速中百舌鳥駅　 （平成10年度）28,201人⇒（平成30年度）28,717人  地下鉄なかもず駅　　　　（平成10年度）69,241人⇒（平成30年度）75,563人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、6つの支所区域のうち「北地域」に含まれる。  ・本地区は、堺市北部の都市的諸機能の集積がすすめられている新都心に位置する。  ・本地区は、地下鉄・南海高野線・泉北高速の交通結節点となっている。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  3.0㎞（うち、未整備区間1.6㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・両駅共にエレベーターなどバリアフリー化の施設整備が行われている。  ・今後の施設の更新に伴う、トイレ、誘導ブロックの改良などが課題である。  ○駅前広場  ・バリアフリー化の整備が行われているが、案内サインの充実などが課題である。  ○道路  ・一部の区間で歩道の舗装・段差・勾配の改良の課題がある。  ・放置自転車、駐車車両の削減等による歩行空間の確保が必要である。  ○信号・交差点  ・特定経路等における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全確保の検討が必要である。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・令和2（2020）年　地下鉄駅ホームにおいて、可動式ホーム柵の運用開始 |